

総 括

令和6年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の当期指定管理4年目であり、指定期間の折り返しを過ぎたことから、各事業及び施設の管理運営におけるこれまでの成果と課題を整理し改善を進め、様々な事業を展開した。特に、前年度に音楽事業の国助成金獲得が困難だった経緯を踏まえ、事業単位で収支バランス確保に努めると同時に、新規財源確保として地元企業からの協賛金募集や運営改善等により財務面の安定化を図った。また、「国技館 5000 人の第九コンサート」について、令和7年度から財団の事業として引き継ぐための準備を行った。

更に、令和6年度中に、ホール、美術館ともに次期指定管理の事業者選定が行われ、開設時から財団が運営を担ってきた経験やノウハウを活かした積極的な事業展開や管理運営等の提案により、引き続き指定管理を受託することができた。なお、すみだ北斎美術館の次期指定管理は、更なる事業振興に向けて共同企業体ではなく財団単独での受託となる。

令和6年度の財務状況は、音楽振興事業では前年度不採択だった日本芸術文化振興会助成金について約1,900万円を獲得したほか、ホール施設の利用貸出しに関して、近隣ホールの改修・休館を背景に営業努力の結果、過去最高の施設利用料金収入を計上した。これらにより、音楽振興事業全体では約2,200万円の収益となった。北斎振興事業では、美術館の年間観覧者数が想定を超える約18万5千人となり、予定を上回る観覧料収入となり、約4,000万円の収益となった。以上のことから、令和6年度の一般正味財産は、令和元年度以降最高額となる約5,400万円の増加となり、結果的に良好な財務状況の決算となった。

○音楽振興事業

あらゆる区民に音楽等の鑑賞機会を提供する事業では、指定事業等を概ね計画通りに実施し、区民をはじめ多くの方が来場した。また、新日本フィルによる学校での音楽指導や地域連携のアウトリーチ事業を計画的に行うとともに、パイプオルガンを区民に身近に認識できるよう、区民向けのパイプオルガン体験会を開催し好評を博した。ジュニア・オーケストラによる活動では、創立20周年記念演奏会を実施し、区内各種イベントにも積極的に参加し活動を行った。

○北斎振興事業

来館者満足度の向上につながり質の高い展示に向けた事業の実施では、新紙幣発行のタイミングに合わせた特別企画展「北斎グレートウェーブ・インパクト」で4万5千人超が来場する等、好調な入館が年間を通じて継続し、年間総観覧者数は計画を約2万4千人超える18万5,379人の来場があった。また、今年度新たに美術館 MARUGEN100(講座室)でのイベントではイベントパートナー登録制度を公募で開始し、「開かれた・連携した美術館」に向けた取組みを進めた。また、利用者サービスとして、オンラインチケット販売システムを導入し利便性向上を図ったほか、施設管理については、令和6年5月28日から6月9日まで臨時休館して必要な設備機器等のメンテナンスを実施した。

○墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

区内で多彩な文化芸術活動が展開できるよう、区民や文化団体・アーティスト等の担い手の取組みを把握し、助成制度やアートプロジェクト等を通じて主体的かつ持続的な活動を促し、文化芸術活動の企画実現のためのコーディネートに努める等、中間的支援の役割を担った。また、これまで蓄積した地域との人的ネットワークや活動情報を基に、令和8年度開催予定の「墨田区総合的芸術祭」の準備等に協力し、支援を進めた。

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

1 トリフォニーホールの事業展開

すみだトリフォニーホールは、平成9年の開館以来、芸術文化の創造・発信拠点として、フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルハーモニー交響楽団と連携し、多彩な自主・協働企画事業を展開してきた。令和5年度から、すみだ音楽大使の佐渡裕氏が新日本フィルの第5代音楽監督に就任し、ホール・区・オーケストラの三者がより一体となって、区民をはじめ福祉・教育・産業観光など幅広い分野を巻き込み様々な事業を展開している。

墨田区の支援による「音楽事業推進補助事業」ではあらゆる区民がホールを身近に感じられるように、積極的かつ多様な事業展開と広報活動を行った結果、区民の来場増加につながるなど、大きな成果を上げた。更に令和6年度には、文化庁をはじめ各種助成金や、地元企業からの協賛金を獲得することにより、財源面の安定化を図っている。

また、「トリフォニーホール区民モニターアンケート」により、公演事業に関する評価に加え、新たな音楽監督を迎えた新日本フィルへの期待など、多岐にわたる項目について調査を実施した。このモニター登録者 400 名超の区民から寄せられた意見や要望、幅広い視点からの客観的な評価を調査分析し、今後の事業運営の重要な指標として活用している。

2 主催公演における積極的な事業実施

主催公演においては、世界的に活躍する一流アーティストと、新日本フィルハーモニー交響楽団との共演による「新日本フィル活用事業」を積極的に展開した。

その一環として、90歳を迎えてなおエネルギッシュな演奏を魅せるジャズ界のレジェンド・渡辺貞夫氏とのスペシャル・コラボレーション「渡辺貞夫 meets 新日本フィル」を2年連続で実施し、大きな注目を集めた。

また、ホルスト生誕 150 年を記念し、代表作「惑星」に新作楽章を委嘱・世界初演の企画を実施した。この話題性を活かし、墨田区をはじめとする地域コミュニティへの周知を図るとともに、宇宙や惑星に関心のある層や、普段クラシック音楽に馴染みのない層にもアピールし、新たな顧客層を開拓することができ、多くの来場者を迎えることができた。



2024/5/1(水)

「渡辺貞夫 meets 新日本フィル」

入場者 1,638 人(うち区民 243 人 15%)



2024/7/7(日)

組曲「惑星」～ボイジャー楽章付き<世界初演>

入場者 1,668 人(うち区民 392 人 24%)

「音楽事業推進補助事業」では、「坂東玉三郎 晩秋の夕べ」や「T-SQUARE meets 新日本フィルハーモニー交響楽団」など、日本の伝統芸能や著名アーティストによる本格的なパフォーマンスを、区民割引による低廉な価格で提供し、多くの区民が来場した。

また、子ども、高齢者、障害のある方、妊娠中の方及び子育て中の方など、誰もがホールに集い、気軽にクラシック音楽を楽しめるよう工夫を凝らし、「みんなで楽しむオーケストラ」などの企画を実施、多様な来場者を迎えることができた。



2024/11/23(土・祝)「坂東玉三郎 晩秋の夕べ」
入場者 1,446 人(うち区民 495 人 34%)



2025/3/1(土)「T-SQUARE meets 新日本フィル」
入場者 1,428 人(うち区民 109 人 8%)

年間を通じてホールの財産でもあるパイプオルガンを活用した多彩な事業を実施した。特に子どもから大人までのすべての区民を対象としたオルガン体験会は、毎回応募者が定員を大きく上回るなど、鑑賞するだけの楽器だったオルガンが身近な楽器として区民に浸透していることがうかがえる。

令和6年度も、区立小中学校の全校での音楽指導事業ならびに区内福祉施設でのふれあいコンサートを実施した。新日本フィルのメンバーによるアウトリーチ事業では「音楽療育アウトリーチ」を、実態やニーズに合わせ参加学校数を前年度よりも拡大して特別支援学級児童・生徒を対象に実施した。効果測定した専門家の医師からは、「継続的に音楽を提供することでもたらされる行動の変化や音楽に対する意識や感じ方に変化が見られ、特別支援学級の児童・生徒たちにとって課題となりやすい社会性や身体協応を促すことに役立ったと思われる」との報告を得ている。

また、令和6年度は新たに不登校生徒に向けた取組みも実施した。墨田区立中学校吹奏楽部を対象とした新日本フィル楽団員による実技指導も4年目となり、各校の演奏レベルの向上に寄与している。部活動の地域移行を見据えて、今後もサポート体制を構築していく。

3 音楽等の鑑賞機会の提供

(1) 公演事業

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、新日本フィルハーモニー交響楽団を活用した、あらゆる区民に届ける鑑賞公演、世界の第一級音楽家による芸術性の高い公演、大ホールのシンボルであり区民の財産でもあるパイプオルガンを活用した公演などを実施した。「音楽事業推進補助事業」では、あらゆる区民の新規入場の拡大に向けて質の高いパフォーマンスを低廉な価格で鑑賞できる機会を創出した。日本の伝統芸能や著名アーティストによる公演など、音楽を中心とした様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、舞台芸術の振興を図った。

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月1日 (水)	渡辺貞夫 meets 新日本フィルハーモニー交響楽団 【概要】 日本ジャズ界の第一線で活躍し続けるレジェンド、渡辺貞夫と新日本フィルとのスペシャル・コラボレーションにて昨年に続き公演を実施した。 前半は渡辺貞夫グループでの演奏、後半はオーケストラと共演した。 【出演】 渡辺貞夫[サックス]、村田陽一[指揮]、新日本フィルハーモニー交響楽団ほか 【演目】 TOKYO DATING、EARLY SPRING、I'M WITH YOU、BOA NOITE、SAMBA EM PRELUDIO、PAGLIACCI、WARM DAYS AHEAD、SUN DANCE、TEMBEA、MY DEAR LIFE ほか	1,638 人
2	7月7日 (日)	組曲「惑星」～ボイジャー楽章付き<世界初演>～ 愛し地球よ、さらば！ボイジャー宇宙航海の旅へ～ 【概要】 ホルスト生誕 150 年を記念し、ホルストの中でも著名な作品「惑星」に、8 番目の楽章を追加して作曲、世界初演として演奏を披露した。宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 等の宇宙科学分野の方々を招き、宇宙、ボイジャーと音楽についての解説を取り入れ、音楽以外に関心を持つ層に対し演奏を鑑賞いただく工夫を行った。 【出演】 シズオ・Z・クワハラ[指揮]、桐朋学園大学・One Voice K[女声合唱]* 秋本悠希[ソプラノ]、清水研作[作曲(ボイジャー楽章)]、新日本フィルハーモニー交響楽団、的川泰宣(JAXA 名誉教授)、渡部潤一(国立天文台上席教授) 【演目】 ホルスト／アヴェ・マリア op.9b*、セントポール組曲 op.29-2、トークセッション／「ボイジャーと遙かなる大宇宙」、ホルスト／組曲「惑星」op.32 全曲 ボイジャー楽章付き<世界初演>関連企画： 6月1日(土) トークセッション「ボイジャーと宇宙開発」&新日本フィル・ミニコンサート(SUMIDA INNOVATION CORE)	1,668 人
3	8月17日 (土)	下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト 第 11 回 不思議な納涼コンサート～真夏に聴く冬の名曲集～ 【概要】 夏の恒例の公演として下野竜也によるあらゆる視点から音楽に親しみを持ってもらうレクチャー型コンサート。今年は猛暑の中敢えて冬の名曲を鑑賞してもらう、実験的な要素を取り入れた企画として実施した。 【出演】 下野竜也[企画監修・司会・指揮]、大井駿[ピアノ] 栗友会合唱団、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】 早川正昭／バロック風日本の四季より「冬」第1楽章、ヴィヴァルディ／「四季」より冬 第2楽章、ホルスト／冬の牧歌、ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番作品 18 より 第3楽章、ジェリー・ゴールドスミス／オーメン組曲より「Ave Satani」、チャイコフスキー／交響曲第 1 番「冬の日の幻想」作品 13 より 第4楽章 関連企画:8月17日(土) 子ども向けバックステージ・ツアー	672 人
4	10月5日 (土)	アヴィシヤイ・コーエン meets 新日本フィルハーモニー交響楽団 【概要】 イスラエル・ジャズを世界に知らしめた鬼才ベース奏者と新日本フィルによる日本初開催となる公演。アヴィシヤイ・コーエンがオーケストラとの共演のため作られた曲を休憩なしでの演奏として実施した。 【出演】 アヴィシヤイ・コーエン[ベース、ヴォーカル]、ロニ・カスピ[ドラムス]、ガイ・モスコヴィッチ[ピアノ]、中田延亮[指揮]、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】 Song for My Brother、Two Roses、Arab Medley、Morenika、Alon Basela ほか	725 人

回	実施日	事業内容	入場者数
5	3月8日 (土)	After80～すみだ発 平和の橋を音楽で繋ぐプロジェクト すみだ平和祈念音楽祭 2025 小曽根真×下野竜也～平和な未来へ 【概要】関東大震災及び東京大空襲で甚大な被害を被った墨田区において、開館当初から平和の祈りを音楽で発信するコンサートを実施している。今年は戦後 80 年として、すみだの歴史を基に作られた小曽根真の作品を中心として企画を実施した。 【出演】小曽根真[ピアノ]、下野竜也[指揮]、小川晋平[ベース]、きたいくにと[ドラムス]、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】第1部 小曽根真トリオ TRiNiFiNiTY 第2部 小曽根真／ピアノ協奏曲「SUMIDA」 関連企画：①2月8日(土) エストニア国立男声合唱団 ②2月20日(木) 平和祈念アウトリーチ(賛育会病院) ③3月10日(月) 平和祈念コンサート(区役所1階アトリウム)	1,051 人

■大ホール等における自主企画公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月7日 (火)	オックスフォード・フィルハーモニー管弦楽団 【概要】海外オーケストラの東京公演のひとつとして実施。今回初来日となるオーケストラは、気鋭のヴァイオリニスト、HIMARI を迎えたことで多くの方々にオックスフォード・フィルの魅力を伝えることとなった。 【出演】マリオス・パパドブローロス[指揮・音楽監督]、HIMARI[ヴァイオリン]、オックスフォード・フィルハーモニー管弦楽団 【演目】チャイコフスキー／幻想序曲「ロミオとジュリエット」、ビゼー(ワグスマン編)／カルメン幻想曲、クライスラー／ジプシーの女、クライスラー：中国の太鼓 Op.3、メンデルスゾーン／交響曲第3番「スコットランド」	1,690 人
2	11月3日 (日・祝)	ジュリアン・ラージ・トリオ 【概要】“現代ジャズ・ギターの最高峰”と呼ばれるジュリアン・ラージによるジャズトリオでのホールコンサートを実施。 【出演】ジュリアン・ラージ[ギター]、ホルヘ・ローダー[ベース]、デイヴ・キング[ドラムス] 【演目】HYMNAL、Something More、OMISSION、MANTRA、QUIET LIKE A FUSE、Untold Moons、MISSING VOICES、EMILY、NORTHERN SHUFFLE ほかに	1,507 人
3	12月22日 (日)	トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2024 第1回 0歳児からのオルガン・コンサート 第2回 しっかりじっくりオルガン・コンサート 【概要】気軽に誰もが楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマスにちなんだ曲や J.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏した。 【出演】原田真侑[オルガン] 熊田祥子[ソプラノ] 【演目】グノー＝J.S. バッハ／アヴェ・マリア、フォーレ／子どものノエル、プーランク／平和への祈りほか	2,836 人 【第1回】 1,233 人 【第2回】 1,603 人

※計画していた「鶴澤清治 三味線の世界」については、出演者との調整がつかず中止とした。

■墨田区音楽事業推進補助事業公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	8月12日 (月・休)	Hello!!シネマミュージック in Summer 【概要】ラジオなどでも活躍するフリーアナウンサー・堀井美香の協力のもと、子どもたちを中心に、コンサートに不慣れな方々を対象としたコンサートを実施。映画音楽など親しみやすい楽曲とお話を織り交ぜ、子どもたちが舞台上上がって演奏を間近で体験するなど、様々な工夫を凝らした。 【出演】水戸博之[指揮]、堀井美香[司会]、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】J.ウィリアムズ/『スター・ウォーズ』よりメインタイトル、久石譲/オーケストラシリーズ「となりのトトロ」A.メンケン/『アラジン』より「ア・ホール・ニュー・ワールド」、『リトル・マーメイド』より「アンダー・ザ・シー」ほか	1,672 人
2	9月11日 (水)	みんなで楽しむオーケストラ 【概要】普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない方々を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施。区内の障害者施設や保育園幼稚園等の多くの方々に周知を行い来場を促した。 【出演】和田一樹[指揮]、田添菜穂子[司会]、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】J.シュトラウスⅡ/常動曲、ポルカ《観光列車》、久石譲/『風の谷のナウシカ』より 遠い日々、山田耕筰/この道、坂本龍一/戦場のメリークリスマスほか	1,481 人 【第1回】 1,096 人 【第2回】 385 人
3	11月2日 (土)	ブラック・ダイク・バンド 【概要】英国で160年以上の伝統を持ち、世界的に有名なブリティッシュ・スタイルの最高峰バンドの5年ぶりの来日公演。 【出演】ブラック・ダイク・バンド 【演目】スーザ/自由の鐘、スッペ/喜歌劇《詩人と農夫》より序曲、<ジェームズ・ボンド 007 組曲>、ピーター・グレイアム/ブラムのための讃歌、フィリップ・スパーク/エニグマ変奏曲、ポール・ロヴァット＝クーパー/エンター・ザ・ギャラクシー、<ソリスト・ショーケース>、<ビッグバンド組曲>ほか	1,642 人
4	11月9日 (土)	トン・コープマン チェンバロ&オルガン・リサイタル 【概要】バロック・オルガンの巨匠、トン・コープマンによるコンサートを実施。チェンバロとオルガンの両方を一つの公演で演奏する特別な企画となった。 【出演】トン・コープマン[チェンバロ・オルガン] 【演目】<チェンバロ>J.S.バッハ/トッカータ ト長調 BWV 916、L.クーブラン/シャコンヌ ハ長調、パヴァーヌ 嬰へ短調、J.デュフリ/クラヴサン曲集第3巻より フォルクレ ヘ短調 <オルガン>D.ブクステフーデ/プレリューディウム ニ長調 BuxWV139、わが魂よ、今ぞ主をたたえよ ト長調 BuxWV 214/215/213、J.S.バッハ/前奏曲とフーガ ハ短調 BWV 546ほか	1,150 人
5	11月23日 (土・祝)	坂東玉三郎「晩秋の夕べ」 【概要】歌舞伎の女形の最高峰で人間国宝の坂東玉三郎によるお話や、かつらや粉飾をせずに舞う素踊りを披露。今回は落語家の春風亭小朝を迎え、二人の対談、落語、素踊りの3部構成として実施した。 【出演】坂東玉三郎[お話・素踊り]、春風亭小朝[お話・落語] 【演目】第1部 対談 坂東玉三郎&春風亭小朝 第2部 落語 春風亭小朝 第3部 素踊り 地唄舞「葵の上」 坂東玉三郎	1,446 人

回	実施日	事業内容	入場者数
6	1月4日 (土)	新日本フィル・ニューイヤー・コンサート2025 in すみだ曳舟 【概要】 区民に新日本フィルを身近に感じてもらう企画。区北部の住民や、まちづくりの進展に伴い新たに住民となった聴衆層への拡大を目的に、落語と、ニューイヤースタイルの音楽を一緒に楽しめる内容を実施した。 【出演】 五街道雲助[落語]、大井剛史[指揮]、櫻井愛子[ソプラノ]、田添菜穂子[司会]新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】 第1部 落語 五街道雲助:芝浜 第2部 オーケストラ J.シュトラウスⅡ/喜歌劇《こうもり》序曲、J.シュトラウスⅡ/シャンパン・ポルカ、ワルツ《美しく青きドナウ》、メンデルスゾーン/6つの歌 第2曲《歌の翼に》、J.シュトラウスⅡ/ワルツ《春の声》、外山雄三/管弦楽のためのラブソディー	536 人
7	3月1日 (土)	T-SQUARE meets 新日本フィルハーモニー交響楽団 【概要】 総合芸術祭を見据えたアートイベントの一環で、これまで共演が少なかったアーティストとのコラボレーションイベントとして実施。日本が世界に誇るポップ・インストゥルメンタル・バンド T-SQUARE と新日本フィルとの共演によりコンサートを実施した。 【出演】 T-SQUARE、竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】 Unexpected Lover、Sabana Hotel、Smile on the hill、Cape light、A Feel Deep Inside、Takarajima、Memories of Alice、Good-bye blue wind、ハワイへ行きたい、Play for you、Sweet sorrow、Tomorrow's affair、いとしのうなじ、Omens of love	1,428 人
8	3月6日 (木)	新日本フィル《映画音楽》コンサート2025 【概要】 映画音楽をフルオーケストラで楽しんでもらう企画。2022 年以来の実施で、第1部は種々名作映画の音楽を、第2部は更に映像付きのコンサートとして実施した。 【出演】 竹本泰蔵(指揮)、田添菜穂子(司会)、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】 第1部 ジョン・ウィリアムズ/Tribute to the Film Composer、アーネスト・ゴールド/『栄光への脱出』、ヘンリー・マンシーニ/『ひまわり』、ミシェル・ルグラン/『シェルブールの雨傘』 ほか 第2部 映像付 マックス・スタイナー/風と共に去りぬ、ヘンリー・マンシーニ/シャレード、ジョルジュ・オーリック/ローマの休日	1,557 人
9	11月18日 (月) 1月18日 (土)	オルガンに親しむコンサート 【概要】 オルガンを気軽に鑑賞していただくコンサートとして、オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー内で連動して実施。 【出演】 千田寧子 【演目】 J.S.バッハ/ G 線上のアリア、トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565 星に願いを〜いつか王子様が〜ホール・ニュー・ワールド ほか	187 人 【11月18日】 57 人 【1月18日】 130 人

(2) 新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催・共催公演

財団と新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催により、年4回の時節を捉えたコンサートを開催し、区民をはじめ家族連れなど幅広い層の集客に努めた。また、新日本フィルの定期演奏会等にも共催し、区民割引を適用した良質な音楽鑑賞機会を安価で提供した。

■新日本フィルハーモニー交響楽団との共同主催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月6日 (土)	ファミリーコンサート2024「オケパンVI《オーケストラは魔法使い》」 【出演】宮川彬良[指揮・司会] 宮川安利、井坂泉月、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】映画『メリー・ポピンズ』メドレー、ドラマ『奥さまは魔女』、アンダーソン／ワルツを踊る猫、ショパン／華麗なる大円舞曲、仔犬のワルツ、モーツァルト／トルコ行進曲、映画『ファンタジア』メドレー、『ゲバゲバ 90 分』のテーマ	1,958 人 【第1回】 992 人 【第2回】 966 人
2	7月13日 (土)	すみだサマーコンサート2024 ズーラシアンプラス VS 新日本フィル 真夏の紅白クラシック合戦2024!! 【出演】和田一樹[指揮]、ズーラシアンプラス、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】ロンドンデリーの歌(アイルランド民謡)、後藤元信／スティーゼルパン協奏曲、峯崎圭輔／パーカッションショータイム！、サラサーテ／ツイゴイネルワイゼン、トロイカ(ロシア民謡)、石川亮太／幻想曲かごめ ほか	1,082 人
3	12月31日 (火)	宮川彬良 vs 新日本フィル 超！ジルベスター・コンサート 2024→2025 【出演】宮川彬良[指揮・ピアノ]、中井 智彦、宮川安利[歌]、栗友会合唱団、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】宮川彬良／シンフォニック・マンボ No.5、アイネ・クライネ・”タンゴ” ムジーク、マツケン・パラダイス、パトロネージュ・サンバ 2024、マツケンサンバⅡ、組曲「少年の時計」 ほか	1,408 人
4	1月3日 (金)	新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2025 【出演】和田一樹[指揮]、田添菜穂子[司会]、櫻井愛子[ソプラノ]、瀧本麻衣子[ヴィオラ]、新日本フィルハーモニー交響楽団 【演目】J.シュトラウスⅡ：喜歌劇『こうもり』序曲、シャンパン・ポルカ、ワルツ「春の声」、ポルカ「観光列車」、ヒンデミット：「白鳥を焼く男」より第1楽章、第3楽章、プッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」 ほか	1,561 人

■新日本フィルハーモニー交響楽団との共催公演

〈すみだクラシックへの扉〉			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月12日(金)	すみだクラシックへの扉 第22回	1,686 人
	4月13日(土)	【出演】佐渡裕[指揮]、角野阜斗[ピアノ]	1,698 人
2	5月10日(金)	すみだクラシックへの扉 第23回	1,642 人
	5月11日(土)	【出演】大友直人[指揮]、前橋汀子[ヴァイオリン]	1,616 人
3	6月21日(金)	すみだクラシックへの扉 第24回	1,574 人
	6月22日(土)	【出演】ヤデル・ビニャミーニ[指揮]、小曽根真[ピアノ]	1,608 人
4	9月27日(金)	すみだクラシックへの扉 第25回	1,570 人
	9月28日(土)	【出演】久石譲[指揮]、宮田大[チェロ]	1,593 人
5	10月25日(金)	すみだクラシックへの扉 第26回	1,537 人
	10月26日(土)	【出演】上岡敏之[指揮]	1,570 人
6	11月29日(金)	すみだクラシックへの扉 第27回	1,590 人
	11月30日(土)	【出演】ジュリアン・ラクリン[指揮]、三浦文彰[ヴァイオリン]	1,567 人

〈すみだクラシックへの扉〉			
回	実施日	事業内容	入場者数
7	1月31日(金)	すみだクラシックへの扉 第28回 【出演】佐渡裕[指揮]、キュウ・ウォン・ハン[バリトン]、中田憲吾、伊藤健司[ボーイソプラノ]、栗友会合唱団	1,556 人
	2月1日(土)		1,541 人
8	3月14日(金)	すみだクラシックへの扉 第29回 【出演】太田弦[指揮]、アレクサンダー・ガジェヴ[ピアノ]	1,565 人
	3月15日(土)		1,560 人

〈トリフォニーホール・シリーズ〉 定期演奏会			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月20日(土)	第655回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】佐渡裕[指揮]、小林沙羅[ソプラノ]、林美智子[メゾ・ソプラノ]、ウエンツ瑛士[妖精バック]、OneVoice ちば[合唱]	1,484 人
2	5月18日(土)	第656回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】小泉和裕[指揮]	1,219 人
3	6月8日(土)	第657回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】シャルル・デュトワ[指揮]、阪田知樹[ピアノ]	1,616 人
4	9月21日(土)	第658回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】佐渡裕[指揮]	1,535 人
5	11月16日(土)	第659回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】井上道義[指揮]	1,594 人
6	1月25日(土)	第660回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】佐渡裕[指揮]	1,538 人
7	3月20日(木・祝)	第661回 〈トリフォニーホール・シリーズ〉 【出演】久石譲[指揮]、角野勇斗[ピアノ]、原田節[オンド・マルトノ]	1,574 人

室内楽シリーズ(小ホール)			
回	実施日	事業内容	入場者数
1	4月22日(月)	室内楽シリーズXXXI 第165回 「三重奏で紡ぐ室内楽の魅力」 Produced by 藤田麻理絵 (NJP ホルン奏者)	166 人
2	5月13日(月)	室内楽シリーズXXXI 第166回 「知られざる名曲～ロマン派の調べ～」 Produced by 城満太郎 (NJP コントラバス・フォアシュピーラー)	189 人
3	7月8日(月)	室内楽シリーズXXXI 第167回 「憧れ」と「欲望」 Produced by 西江辰郎 (NJP コンサートマスター)	216 人
4	9月17日(火)	室内楽シリーズXXXI 第168回 Musical Investigations ～冒険と探求～ Produced by サミュエル・エリクソン (NJP チェロ奏者)	114 人

室内楽シリーズ(小ホール)			
回	実施日	事業内容	入場者数
5	10月24日 (木)	室内楽シリーズXXI 第169回 「一夜限りのカルメン！」Produced by 村松裕子 (NJP コントラバス奏者)	209 人
6	1月20日 (月)	室内楽シリーズXXI 第170回 「The section ～4 人のオーボエ奏者たち～」Produced by 浅間信慶 (NJP オーボエ奏者)	200 人
7	2月17日 (月)	室内楽シリーズXXI 第171回 「Viola with・・・～真冬に聴くアツイ室内楽！～」Produced by 桂田光理 (NJP ヴィオラ奏者)	171 人
8	3月21日 (金)	室内楽シリーズXXI 第172回 「from “Empire”」Produced by 山川永太郎 (NJP 首席トランペット奏者)	205 人

その他		
実施日	事業内容	入場者数
6月15日 (土)	井上道義ザ・ファイナル PART II 【出演】井上道義[指揮とお話]、室住素子[オルガン]	1,529 人
8月31日 (土)	小澤征爾追悼演奏会 【出演】佐渡裕[指揮]、クリスティアン・アルミンク[指揮]、秋山和慶[指揮]、 堤剛[チェロ]	1,672 人
12月15日 (日)	新日本フィルフィルハーモニー交響楽団「第九」特別演奏会 2024 【出演】佐渡裕[指揮]、高野百合絵[ソプラノ]、谷口睦美[メゾ・ソプラノ]、 笛田博昭[テノール]、平野和[バリトン]、栗友会合唱団	1,712 人

(3) その他の共同主催・共催公演

大小ホールの特性を活かす多彩な公演を共催として招致することで公演事業の充実を図った。また、区内で活動する音楽団体が中心となって実施している「すみだストリートジャズフェスティバル」は、今年度は前夜祭及び1日目を小ホールで開催した。

■共同主催公演

すみだストリートジャズフェスティバル 2024				
実施日	会場	出演団体		入場者数
10月18日 (金) 〈前夜祭〉	小ホール	1	MASH 幻楽団	200 人
		2	墨田川高校 OB バンド『つるつるズ』	
		3	錦糸町パラダイス ライブ MOROHA	
		4	錦糸町パラダイス トーク	

すみだストリートジャズフェスティバル 2024			
実施日	会場	出演団体	入場者数
10月19日 (土) 〈1日目〉	小ホール	1 情報経営イノベーション専門職大学 iU Band	500 人
		2 荒川サビエンス	
		3 林栄一+D2G	
		4 乙三	
		5 Vermilion Field	
		6 ZASH	
		7 Hong soon dal Band	

■その他共催公演

回	実施日	事業内容	入場者数
1	6月29日 (土)	村上春樹 produce 村上 JAM vol.3 熱く優しい、フュージョンナイト 【出演】村上春樹[プロデュース・MC]、坂本美雨[MC]、大西順子[音楽監督・ピアノ・キーボード]、マイク・スターン[ギター]、カーク・ウェイラム[サックス]、黒田卓也[トランペット]、ジョン・パティットウッチ[ベース]、エリック・ハーランド[ドラムス]	1,604 人
2	8月4日 (日)	辻井伸行×三浦文彰 ARK フィルハーモニック 究極のベートーヴェン 【出演】三浦文彰[指揮・ヴァイオリン]、辻井伸行[ピアノ]、ARK フィルハーモニック	1,694 人
3	10月21日 (月)	群馬交響楽団 東京定期演奏会 【出演】デイヴィッド・レイランド[指揮]、マーク・パドモア[テノール]、群馬交響楽団	705 人
4	12月5日 (木)	ディズニー・オン・クラシック 〜魔法の夜の音楽会 2024 【出演】リチャード・カーシー[指揮]、THE ORCHESTRA JAPAN、ささきフランチエスコ[ナビゲーター] ほか	1,678 人
5	12月7日 (土)	アヌーナ特別公演(ケルティック・クリスマス 2024) 【出演】アヌーナ[コーラス]、津村禮次郎[能楽]、東野珠実[笙]、柿原光博[大鼓]	929 人
6	1月6日 (月)	ユンディ プレイズ モーツァルト ピアノ・リサイタル「ソナタ・プロジェクト1」 【出演】ユンディ・リ	1,158 人
7	2月8日 (土)	エストニア国立男声合唱団 【出演】ミック・ウレオヤ[指揮]、エストニア国立男声合唱団	1,010 人
8	2月13日 (木)	Blue Note Tokyo presents サマラ・ジョイ in Concert 【出演】サマラ・ジョイ[ヴォーカル]、ポール・シキヴィー[ベース]、コナー・ローラー[ピアノ]、エヴァン・シャーマン[ドラムス]、ドノヴァン・オースティン[トロンボーン]、ジェイソン・チャロス[トランペット]、デヴィッド・メイソン[アルトサックス]、ケンドリック・マカリスト[テナーサックス]	1,672 人

回	実施日	事業内容	入場者数
9	2月19日 (水)	セイジ・オザワ 松本フェスティバル特別公演 サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル 【出演】 ガボール・タルコヴィ[トランペット]、ライナー・キューブルベック[トランペット]、高橋敦[トランペット]、服部孝也[トランペット]、ラデク・パボラーク[ホルン]、勝俣泰[ホルン]、阿部鷹[ホルン]、ワルター・フォーグルマイヤー[トロンボーン]、呉信一[トロンボーン]、ヨハン・シュトレッカー[バス・トロンボーン]、ピーター・リンク[チューバ]、竹島悟史[ティンパニ/打楽器]	992人

(4) アウトリーチ事業

オーケストラ演奏を地域住民に届ける「コミュニティ・コンサート」は、区内4校の児童・生徒及び地域の方々を対象に、トリフォニーホールで実施した。区立小中学校での「音楽指導事業」、福祉施設等での「ふれあいコンサート」などに加え、令和6年度は「音楽療法を取り入れたアウトリーチ」「墨田区立中学校吹奏楽への音楽指導」「小中学校向け音楽づくりワークショップ」事業を継続して実施した。

■音楽指導事業

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
1	6月24日(月)	吾嬬第二中学校	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	120人
2	6月27日(木)	東吾嬬小学校	ヴィオラ、ピアノ	2人	106人
3	7月4日(木)	言問小学校	トランペット、ピアノ	2人	81人
4	7月5日(金)	外手小学校	ヴァイオリン、ハープ	2人	131人
5	7月8日(月)	第四吾嬬小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	79人
6	7月10日(水)	寺島中学校	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	132人
7	7月10日(水)	中川小学校	ヴァイオリン、クラリネット、ファゴット	3人	72人
8	7月10日(水)	錦糸中学校	トランペット、ホルン、バス・トロンボーン	3人	91人
9	7月18日(木)	吾嬬立花中学校	トランペット、ホルン、トロンボーン	3人	187人
10	9月4日(水)	第三吾嬬小学校	コントラバス、フルート、ピアノ	3人	93人
11	9月5日(木)	第一寺島小学校	打楽器3名	3人	113人
12	9月5日(木)	文花中学校	トランペット、ピアノ	2人	82人
13	9月10日(火)	業平小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、オーボエ	4人	179人
14	9月30日(月)	中和小学校	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	55人
15	10月28日(月)	第二寺島小学校	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	187人
16	11月1日(金)	八広小学校	コントラバス、オーボエ、ピアノ	3人	182人
17	11月11日(月)	二葉小学校	チェロ、オーボエ、ピアノ	3人	135人
18	11月18日(月)	菊川小学校	フルート、クラリネット、ファゴット	3人	120人
19	12月11日(水)	文花中学校(夜間)	チェロ2名	2人	32人
20	12月13日(金)	本所中学校	ヴァイオリン、ヴィオラ	2人	125人

回	実施日	会場	指導内容	指導者数	生徒数
21	12月16日(月)	墨田中学校	ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ	3人	155人
22	12月19日(木)	曳舟小学校	トランペット、ピアノ	2人	183人
23	12月20日(金)	梅若小学校	トランペット、ピアノ	2人	125人
24	12月24日(火)	緑小学校	ヴァイオリン、オーボエ	2人	181人
25	1月20日(月)	隅田小学校	打楽器、ピアノ	2人	157人
26	1月27日(月)	柳島小学校	フルート、オーボエ	2人	147人
27	1月28日(火)	立花吾嬬の森小学校	ホルン、ピアノ	2人	115人
28	1月28日(火)	横川小学校	ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノ	3人	147人
29	1月29日(水)	押上小学校	フルート2名	2人	175人
30	1月29日(水)	錦糸小学校	ヴァイオリン、コントラバス	2人	105人
31	1月31日(金)	両国小学校	コントラバス、クラリネット	2人	175人
32	2月3日(月)	第三寺島小学校	フルート、オーボエ	2人	110人
33	2月12日(水)	小梅小学校	トランペット、ピアノ	2人	160人
34	2月27日(木)	両国中学校	フルート、ピアノ	2人	218人
35	3月10日(月)	桜堤中学校	ヴァイオリン、コントラバス、クラリネット	3人	450人
36	3月11日(火)	竪川中学校	フルート、ピアノ	2人	132人
合計				94人	5,037人

■ふれあいコンサート

回	実施日	会場	内容	指導者数	観客数
1	8月20日(火)	亀沢のぞみの家	ヴァイオリン、コントラバス、打楽器	3人	25人
2	9月9日(月)	すみだ福祉保健センター	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン	5人	20人
3	10月26日(土)	シルバープラザ梅若	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	43人
4	10月27日(日)	ひきふね図書館	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	82人
5	11月21日(木)	なりひらホーム	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	27人
6	11月27日(水)	たちばなホーム	ヴァイオリン、フルート	2人	47人
7	12月3日(火)	おおぞらひだまり	ヴァイオリン、チェロ	2人	30人
8	12月4日(水)	社会福祉会館	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	54人
9	12月17日(火)	緑幼稚園	チェロ2名	2人	25人
10	12月18日(水)	東あずま保育園	ヴァイオリン、チェロ、コントラバス	3人	40人

回	実施日	会場	内容	指導者数	観客数
11	12月20日(金)	江東橋保育園	ヴァイオリン、チェロ	2人	30人
12	12月22日(日)	墨田児童会館	ヴァイオリン、チェロ、ピアノ	3人	60人
13	12月23日(月)	はなみずきホーム	チェロ2名	2人	48人
14	12月26日(木)	リバーサイドホール	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン	5人	210人
15	1月6日(月)	喜楽里すみだ工房	ヴァイオリン、ヴィオラ	2人	53人
16	1月6日(月)	墨田さんさんプラザ	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	54人
17	1月20日(月)	すみだふれあいセンター福祉作業所	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	3人	65人
18	2月24日(月・祝)	フレンドリープラザ江東橋児童館	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	65人
19	3月26日(水)	ワクワク工房デイサービス	ヴァイオリン2名、ヴィオラ、チェロ	4人	16人
合計				59人	994人

■音楽療法を取り入れたアウトリーチ

回	実施日	学校	内容	講師数	参加数
1	9月 24 日(火)	立花吾嬬の森小学校 特別支援学級	弦楽器演奏体験、管楽器・弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	4人	22 人
2	9月 26 日(木)			4人	20 人
3	10 月 24 日(木)	中和小学校 特別支援学級	打楽器演奏体験、弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	3人	18 人
4	10 月 25 日(金)			3人	18 人
5	12 月 17 日(火)	桜堤中学校 通級指導学級	弦楽器演奏体験、弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	4人	12 人
6	1月 20 日(月)	緑小学校 特別支援学級	弦楽器演奏体験、弦楽四重奏コンサート鑑賞、ほか	4人	13 人
7	1月 28 日(火)			4人	19 人
8	2月 27 日(木)	隅田小学校 特別支援学級	フルート・弦楽器演奏体験、フルートコンサート鑑賞、ほか	4人	21 人
9	3月3日(月)			4人	19 人
10	3月7日(金)	第一寺島小学校 特別支援学級	打楽器演奏体験、打楽器コンサート鑑賞、ほか	3人	23 人
11	3月 14 日(金)			3人	23 人
合計				40 人	208 人

■墨田区立中学校吹奏楽部への音楽指導

回	実施日	学校	指導楽器	講師数	参加数
1	6月10日(月)	錦糸中学校	ホルン、フルート	2人	4人
2	7月8日(月)	錦糸中学校	フルート、クラリネット、サックス、トランペット、トロンボーン、打楽器	6人	5人
3	7月11日(木)	堅川中学校	サックス、打楽器	2人	18人
4	7月18日(木)	吾嬬立花中学校	ホルン、トロンボーン、打楽器	3人	12人
5	10月1日(火)	桜堤中学校	クラリネット、ホルン、打楽器	3人	7人
6	12月15日(日)	吾嬬第二中学校	サックス	1人	2人
7	2月1日(土)	本所中学校	フルート、クラリネット、サックス、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム&チューバ	6人	11人
8	3月1日(土)	吾嬬第二中学校	サックス	1人	2人
9	3月23日(日)	墨田中学校	打楽器	1人	1人
10	3月28日(金)	墨田中学校	木管指導、金管指導	2人	10人
合計				27人	72人

■墨田区立学校支援事業

実施日	事業内容	入場者数
11月19日(火)	第二寺島小学校100周年祝賀コンサート 【出演】新日本フィルハーモニー交響楽団、金管五重奏市川和彦[トランペット]、杉木淳一郎[トランペット]、山田圭祐[ホルン]、山口尚人[トロンボーン]、佐藤和彦[チューバ]	540人

(5) その他、パイプオルガン及びホールに親しむ機会の提供

音楽をより身近に感じてもらう機会を設け、来場者の拡大を図った。

■オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー

実施日	事業内容	参加者数
11月18日(月)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2024-25 第1回 車いすご利用の方(引率者含む) 第2回 一般	[第1回 車いすご利用の方] 43人 うち車いすご利用の方 18人
		[第2回 一般] 35人
1月18日(土)	オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー2024-25 第1回 未就学児(保護者含む) 第2回 一般	[第1回 未就学児] 23人
		[第2回 一般] 28人

■区民向けオルガン体験会「パイプオルガンを弾いてみよう!!」

「一回体験コース」 ※鍵盤楽器経験不問

実施日	事業内容	参加者数
12月4日(水)	パイプオルガンを弾いてみよう!! 2024-25 対象: [第1回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上 [第2回] 墨田区在住・在勤・在学の高校生以上	[第1回] 10人 (体験者5人、見学者5人)
		[第2回] 11人 (体験者6人、見学者5人)

実施日	事業内容	参加者数
2月15日(土)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2024-25 対象:[第1回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生 [第2回] 墨田区在住・在学の小学3年生～中学生	[第1回] 16人 (体験者6人、見学者10人)
		[第2回] 16人 (体験者6人、見学者10人)

「じっくり体験コース」 ※鍵盤楽器経験のある方

実施日	事業内容	参加者数
8月11日(日・祝) 8月14日(水) 8月15日(木) 8月19日(月)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2024-25 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生～中学生 8月11日(日) 楽器説明&グループレッスン 8月14日(水) 個人レッスン※3名ずつ 8月15日(木) 個人レッスン※3名ずつ 8月19日(月) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者6人 [最終日の試演会] 25人 (体験者6人、見学者19人)
9月1日(日) 9月4日(水) 9月5日(木) 9月8日(日)	パイプオルガンを弾いてみよう！！2024-25 対象:墨田区在住・在勤・在学の小学3年生以上どなたでも可 9月1日(日) 楽器説明&グループレッスン 9月4日(水) 個人レッスン※3名ずつ 9月5日(木) 個人レッスン※3名ずつ 9月8日(日) 受講生同士で弾きあい聴きあい試演会	体験者5人 [最終日の試演会] 14人 (体験者5人、見学者9人)

4 区民等による音楽活動の促進及び育成

音楽による次世代育成やコミュニティ形成に資するため、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの持続的な練習活動、及び区内の音楽団体が集う「すみだ音楽祭」を開催した。

(1) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

回	実施日	事業内容	入場者数
1	5月26日(日)	こどもわくわくフェスティバル メインステージ演奏 キャンパスコモン及び周辺(千葉大学墨田サテライトキャンパス・iU 隣接) 【出演】トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ (アンサンブル)	300人
2	8月10日(土)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 第36回演奏会 「夏休みオーケストラ・コンサート」 【出演】神成大輝[指揮]、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	613人
3	10月5日(土) 10月6日(日)	すみだまつり・こどもまつり ステージ演奏 楽天地ビルステージ 【出演】トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ (アンサンブル)	200人 (50人×4回)
4	10月26日(土)	学校コンサートin 梅若小学校 【出演】米田覚士[指揮]、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	500人
5	3月23日(日)	トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ創立20周年第37回記念演奏会 【出演】松尾葉子[指揮]、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ	844人

(2) 区民音楽祭「すみだ音楽祭 2024」の実施

実施日	施設	出演団体		入場者数
8月 18 日 (日)	大ホール	1	STP JAZZ FUNK ORCHESTRA	831 人
		2	ファイアーバード・ジャズオーケストラ	
		3	ハイファイブ・ジャズオーケストラ	
		4	ジロー吉田とブルーハーバー・ジャズ・オーケストラ	
		5	スウィングライツジャズオーケストラ	
	小ホール	1	淡交混声合唱団	750 人
		2	隅田川合唱団	
		3	クローバーコーラス	
		4	混声合唱団プリマ&プリモ	
		5	コール・アミーガ	
		6	IPCC 合唱団&立花吾嬬の森女声合唱団	
8月 24 日 (土)	大ホール	1	立志舎高校吹奏楽部	835 人
		2	墨田シルバーアンサンブル	
		3	すみだマンドリンクラブ	
		4	日本大学第一中学・高等学校吹奏楽部	
		5	AZUMA 吹奏楽団	
		6	墨田区吹奏楽団	
	小ホール	1	合唱団 橘	690 人
		2	東京ベートーヴェンクライス	
		3	グリーン・グリーンコーラス	
		4	すみだオペラ合唱団	
		5	コンセール・リヴィエール	
		6	合唱団うたのわ	
8月 25 日 (日)	大ホール	1	すみだ少年少女合唱団&Chor June、	1,934 人
		2	女声合唱団シューベルト・コア	
		3	すみだ男声合唱団	
		4	ブルーメンコール	
	小ホール	1	墨田区交響楽団	325 人
		2	East Castle Wind Ensemble	
		3	PILAFF	
合計				5,365 人

5 公演情報等の集配業務

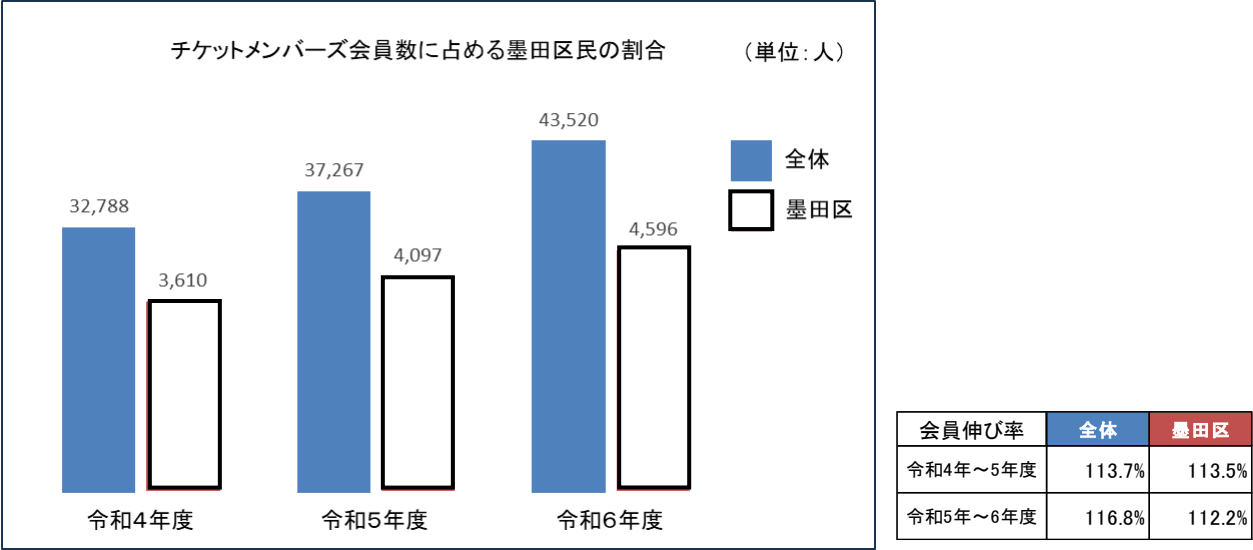
当ホールの存在感を高めるため、館内や錦糸町駅周辺を中心としたサインやポスターの掲出を行うとともに、公演情報についてはWEB、SNS 等を中心に発信した。

(1) 会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」年会費及び特典

年会費は無料で、会員には特典として定期的に公演情報等をメールマガジンで配信、チケット先行予約、チケット割引販売、チケットのオンライン購入、公開リハーサル招待、ホール近隣ホテルのレストラン割引サービスがある。

(2) トリフォニーホール・チケットメンバーズ会員数と墨田区民の割合

全体の登録者数は増加傾向にあり、墨田区民の登録者の割合も伸びている。



(3) 地域別会員数の推移

年度	地域 (人口)	合 計	墨田区 (28.2 万)	江東区 (52.3 万)	葛飾区 (45.0 万)	江戸川 区 (69.0 万)	その他 23 区 (857 万)	23 区以 外都内 (424 万)	千葉県 (626 万)	神奈川 県 (921 万)	埼玉県 (732 万)	茨城県 (283 万)	その他 の県
6年度	会員数	43,520	4,596	1,804	733	1,242	12,091	3,342	6,092	5,087	3,513	747	4,273
	割合	100%	10.6%	4.1%	1.7%	2.8%	27.8%	7.7%	14.0%	11.7%	8.1%	1.7%	9.8%
5年度	会員数	37,267	4,097	1,566	632	1,056	10,292	2,875	5,227	4,350	2,946	638	3,588
	割合	100%	11.0%	4.2%	1.7%	2.9%	27.6%	7.7%	14.0%	11.7%	7.9%	1.7%	9.6%
4年度	会員数	32,788	3,610	1,375	552	917	9,061	2,536	4,612	3,786	2,590	573	3,176
	割合	100%	11.0%	4.2%	1.7%	2.8%	27.6%	7.7%	14.1%	11.5%	7.9%	1.8%	9.7%

※会員数については、今年度よりメールマガジン登録をしていない数も計上し、前年度報告数よりも増加しています。

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

施設利用においては、特に大ホールの利用日数、本番公演数が大幅に増え、それに伴い来場者数が飛躍的に伸びている。これまでの取組みを生かしながら、一層安心・安全なホール運営を実現した。

(1) 施設利用実績

大ホール (1,801 席)	6年度	5年度	4年度
利用可能日数	317	298	311
利用不可日数	48	68	54
利用日数	308	266	295
本番公演数	214	164	180
新日本フィル	44	42	37
財団	39	37	55
一般	131	85	88
日数利用率	97%	89%	95%
利用可能区分数 (3区分)	940	883	915
利用区分数 (3区分)	783	667	716
新日本フィル	274	277	280
財団	194	176	235
一般	315	214	201
区分利用率	83%	76%	78%

小ホール (252 席)	6年度	5年度	4年度
利用可能日数	309	305	312
利用不可日数	56	61	53
利用日数	293	294	283
本番公演数	267	286	252
新日本フィル	13	11	11
財団	3	7	5
一般	251	268	236
日数利用率	95%	96%	91%
利用可能区分数 (3区分)	890	875	898
利用区分数 (3区分)	729	727	702
新日本フィル	61	37	51
財団	23	35	56
一般	645	655	595
区分利用率	82%	83%	78%

練習室 1 (87.2 m ²)	6年度	5年度	4年度
利用可能日数	326	319	330
利用不可日数	39	47	35
利用日数	257	223	200
日数利用率	79%	70%	61%
利用可能区分数 (3区分)	781	769	788
利用区分数 (3区分)	447	361	338
区分利用率	57%	47%	43%

練習室 2 (20.7 m ²)	6年度	5年度	4年度
利用可能日数	315	317	315
利用不可日数	50	49	50
利用日数	275	251	226
日数利用率	87%	79%	72%
利用可能区分数 (3区分)	709	739	739
利用区分数 (3区分)	427	362	338
区分利用率	60%	49%	46%

練習室 3 (17.7 m ²)	6年度	5年度	4年度
利用可能日数	312	307	314
利用不可日数	53	59	51
利用日数	258	197	217
日数利用率	83%	64%	69%
利用可能区分数 (3区分)	684	698	729
利用区分数 (3区分)	362	245	302
区分利用率	53%	35%	41%

(2) パイプオルガン利用実績

	6年度	5年度	4年度
本番利用	45 回	34 回	50 回
レジスト及び リハーサル利用	44 回	25 回	32 回
合 計	89 回	59 回	82 回

(3) 公演実施状況 (ジャンル別)

大ホール(1,801 席)	6年度		5年度		4年度	
ジャンル	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	146	68.2%	123	75.0%	141	78.4%
オーケストラ	122	57.0%	97	59.2%	100	55.6%
新日本フィル	52	24.3%	50	30.5%	49	27.2%
その他(プロ)	13	6.1%	6	3.7%	1	0.6%
その他(アマ)	57	26.6%	41	25.0%	50	27.8%
室内楽・器楽	2	0.9%	4	2.4%	4	2.2%
ピアノ	2	0.9%	2	1.2%	4	2.2%
オルガン	19	8.9%	20	12.2%	31	17.3%
オペラ・オペレッタ	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
声 楽	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
現代音楽	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 唱	10	4.7%	6	3.7%	8	4.4%
吹奏楽	11	5.1%	4	2.4%	4	2.2%
ジャズ・ポップス	29	13.6%	17	10.4%	6	3.3%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%
コンクール	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
邦 楽	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
演 芸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	18	8.4%	13	7.9%	19	10.6%
合 計	214	100%	164	100%	180	100%
入場者数	233,809		160,750		139,539	
平均入場者数	1,093		980		775	

小ホール(252 席)	6 年度		5 年度		4 年度	
ジャンル	公演数	構成比	公演数	構成比	公演数	構成比
クラシック	156	58.4%	181	63.3%	137	54.3%
オーケストラ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新日本フィル	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(プロ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(アマ)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
室内楽・器楽	78	29.2%	84	29.4%	76	30.1%
ピアノ	47	17.6%	50	17.5%	37	14.7%
オルガン	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
オペラ・オペレッタ	3	1.1%	2	0.7%	1	0.4%
声 楽	28	10.5%	45	15.7%	23	9.1%
現代音楽	5	1.9%	5	1.7%	4	1.6%
合 唱	5	1.9%	3	1.0%	0	0.0%
吹奏楽	1	0.4%	1	0.3%	1	0.4%
ジャズ・ポップス	11	4.1%	3	1.0%	3	1.2%
演 歌	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
音楽教室等発表会	47	17.6%	55	19.3%	51	20.2%
コンクール	20	7.5%	19	6.7%	27	10.7%
邦 楽	10	3.7%	8	2.8%	13	5.2%
演 芸	4	1.5%	4	1.4%	3	1.2%
その他	8	3.0%	7	2.5%	13	5.2%
合 計	267	100%	286	100%	252	100%
入場者数	33,586		30,531		25,389	
平均入場者数	126		107		101	

Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、候補資料の調査から収集まで全面的に協力し、作品収集に貢献した。また、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管した。

(1) 資料収集

区が収集する資料の候補について、専門的な立場から情報収集及び調査研究を行い、すみだ北斎美術館資料収集委員会及び評価委員会の運営に協力した。また、新たに収集した資料の撮影及び収蔵データベースへの登録を行った。更に、寄託資料 15 点及び寄贈資料2点を受け入れて、今後の展示企画につなげることができた。

(2) 資料保管

資料の特性に応じて、温・湿度など最適な環境を維持し、適切な収納方法により保管するとともに、地震など想定される危険に対する安全対策を図った。また、資料の修復の必要性を判断し、必要に応じて修復を進め、その履歴の管理を行った。

- ・環境整備：虫菌害環境調査及びIPM(防除対策)のコンサルティングを実施し、IPM計画を策定のうえ、館内の環境整備を図った。また、資料の適切な収納を図るために、資料保存容器を29点制作した。更に、館内IPMの一層の向上のために、職員及び委託スタッフを対象にIPM基本研修を実施した。
- ・資料修復：肉筆画6点の修復を実施した。
- ・燻 蒸：定期燻蒸を1回(5月)実施した。
- ・実地棚卸し：区の立会いのもと1回(3月)実施した。
- ・学術研究等のための資料撮影及び熟覧:撮影2件、熟覧4件
- ・他館との資料貸借等

(作品貸出)

- 岡山シティミュージアム「綴プロジェクト」共催展へ 高精細複製画1点
- 板橋区立美術館「エド・イン・ブラック 黒からみる江戸絵画」展へ 肉筆画1点
- 鎌倉国宝館「集結！北斎のエナジー ー肉筆浮世絵の殿堂ー」展へ 肉筆画4点・版画3点

(作品借用)

- 特別展「北斎グレートウェーブ・インパクトー神奈川沖浪裏の誕生と軌跡ー」
 - ・川崎・砂子の里資料館より 版画3点
 - ・藤沢市藤澤浮世絵館より 版画7点
 - ・神奈川県立歴史博物館より 版画4点
 - ・立正大学古書資料館より 版画3点
 - ・三井淳平氏より レゴブロックアート1点
 - ・東京都立中央図書館より 版画3点
 - ・慶應義塾大学より 版画1点、版本1点
 - ・板橋区立美術館より 肉筆画1点

○企画展「北斎が紡ぐ平安のみやびー江戸に息づく王朝文学」

- ・日立市郷土博物館より 版本1点

○企画展「北斎×プロデューサーズ 葛屋重三郎から現代まで」(令和7年度開催)

- ・(株)高橋工房より 版画2点
- ・(株)版三より 版画5点
- ・(株)芸艸堂より 版木3点
- ・ギャラリー紅屋より 文書1点
- ・(株)アダチ版画研究所より 版木1点、摺彫1式
- ・台東区立中央図書館より 版画3点・版本2点

(作品返還)

- ・寄託作品「富嶽三十六景 凱風快晴」 1点

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究を行った。その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積や充実を図り、展示事業や刊行物等を通じて一般から専門家まで広く情報を発信した。特に、調査研究の成果を分かりやすく伝えるために、企画展示事業に反映させることに注力し、北斎作品の持つ価値・魅力を最大限に引き出して、社会に還元した。また、その内容については、図録やリーフレットの発行により、広く公表した。

○調査研究図書の出版

- ・「北斎 グレートウェーブ・インパクトー神奈川沖浪裏の誕生と軌跡ー」展 図録
(A5縦判/200 頁)
- ・「北斎が紡ぐ平安のみやびー江戸に息づく王朝文学」展 リーフレット(A4縦長判/8頁)
- ・「読み解こう！北斎も描いた江戸のカレンダー」展 リーフレット(A4縦長判/8頁)
- ・「北斎×プロデューサーズ 葛屋重三郎から現代まで」展 リーフレット(A4縦長判/8頁)

○寄稿

- ・吉野石膏美術振興財団『調査研究報告書 第6号』への寄稿
- ・国華社『国華 1548 号』への寄稿(館蔵品解説 魚屋北溪「振向美人立姿図」)
- ・国華社『国華 1551 号』への寄稿(館蔵品解説 葛飾北斎「道成寺図」)
- ・国際浮世絵学会『浮世絵芸術 189 号』への寄稿(「北斎 グレートウェーブ・インパクトー神奈川沖浪裏の誕生と軌跡ー」展覧会後記)

○その他

- ・東京・区立美術館ネットワークへの参加
- ・江戸木版画伝統工芸士資格認定試験への立会い

3 展示事業

調査研究の成果を活かし、北斎やその作品の持つ価値・魅力を最大限に引き出して、多様な切り口から広く伝える展示事業を展開した。

(1) 常設展示の実施

4階の AURORA(常設展示室)では、「すみだと北斎とのつながり」や「北斎の画業と生涯」をテーマとして、北斎の代表的な作品を高精細レプリカにより紹介するとともに、情報端末を活用した資料の展示を行った。また、これら資料の一部展示替えを6回行った。

※令和7年3月に「AURORA(常設展示室)」から、『北斎を学ぶ部屋(英名 Education Room－Discover Hokusai－』に名称変更した。

- ・ 観覧料:一般 400 円、高大生・65 歳以上 300 円

観覧者数

(単位:人)

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学生以下	年間パスポート	招待券	計
常設展示のみ	13,737	1,664	2,489	1,307	869	639	22	79	20,806
企画展示 同時観覧	106,658	11,572	27,938	3,015	4,120	6,709	1,523	3,038	164,573
計	120,395	13,236	30,427	4,322	4,989	7,348	1,545	3,117	185,379

観覧料収入(常設展示のみ)

(単位:円)

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	計
個人	4,849,980	499,140	733,080	6,082,200
団体	3,000	0	7,200	10,200
計	4,852,980	499,140	740,280	6,092,400

(2) 企画展示の実施

年間5回の企画展を開催した(令和5年度からの継続展、令和7年度への継続展を含む)。

また、「常設展プラス」を2回実施した。更に、9月から「常設展プラス」内にオリジナル作品を展示する、「今月の逸品」コーナーを新設した。

展覧会の記録及び来館者サービスの一環として、企画展ごとのリーフレットや特別展図録を発行した。

■企画展 会期、観覧者数等

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
1	歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能	4月2日～5月26日 (48日間)	25,197 人	525 人
			20,906,600 円	435,554 円
2	* 特別展 * 北斎 グレートウェーブ・インパクトー神奈川冲浪裏の誕生と軌跡ー	6月18日～8月25日 (60日間)	45,525 人	759 人
			54,036,200 円	900,603 円
3	北斎が紡ぐ平安のみやびー江戸に息づく王朝文学	9月18日～11月24日 (59日間)	34,748 人	589 人
			29,041,540 円	492,229 円
4	読み解こう！ 北斎も描いた江戸のカレンダー	12月18日～3月2日 (60日間)	29,802 人	497 人
			24,715,020 円	411,917 円
5	北斎×プロデューサーズ 蔦屋重三郎から現代まで	3月18日～3月31日 (12日間)	9,080 人	757 人
			7,332,760 円	611,063 円

回	展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
			観覧料収入	1日平均
計		令和6年度 (239 日間)	144,352 人	604 人
			136,032,120 円	569,172 円

■常設展プラス 会期、観覧者数等

展覧会タイトル	会期	観覧者数 ※	1日平均
		観覧料収入	1日平均
常設展プラス 隅田川兩岸景色図巻 (複製画)と北斎漫画	4月2日～5月26日、 9月10日～3月31日 (217日間)	20,221 人	93 人
		12,817,340 円	59,066 円

※ 観覧者数はチケットによる入館者数

□「今月の逸品」コーナー:オリジナル作品の展示

- 9月10日～10月14日 「富嶽三十六景 遠江山中」
- 10月16日～11月17日 「富嶽三十六景 東都駿台」
- 11月19日～12月22日 「富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見」
- 12月24日～1月26日 「富嶽三十六景 東都浅草本願寺」
- 1月28日～3月2日 「富嶽三十六景 甲州伊沢暁」
- 3月4日～3月30日 「富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二」

■各展覧会の実施概要

① 歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能

- ・展示概要：北斎は勝川派を離れてから役者絵を描いていないとされるが、浄瑠璃や踊りなど芝居に関連する作品は多く残されている。北斎が描いた歌舞伎とその周辺の芸能をモチーフとした作品を展覧し、当館初展示の作品も多数紹介した。
- ・開催期間：令和6年4月2日(火)から
5月26日(日)まで
- ・開催施設：3階 企画展示室
- ・観覧料：一般 1,000 円、高大生・
65 歳以上 700 円、中学生・
障がい者 400 円
(小学生以下は無料)

※前年度からの継続事業



葛飾北斎「新板浮絵三芝居顔見世大入之図」

観覧者数(4月2日～5月 26 日)

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個 人	16,463	1,681	4,443	328	549	903	255	575	25,197
団 体	0	0	0	0	0	0			0
計	16,463	1,681	4,443	328	549	903	255	575	25,197

観覧料収入(令和6年度分)

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	計
個 人	16,382,100	1,176,420	3,085,040	98,400	164,640	20,906,600
団 体	0	0	0	0	0	0
計	16,382,100	1,176,420	3,085,040	98,400	164,640	20,906,600

② 特別展 北斎 グレートウェーブ・インパクトー神奈川沖浪裏の誕生と軌跡ー

- ・展示概要：令和6年7月に 20 年ぶりに一新された紙幣のうち千円札の裏面の図柄に、北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」が採用されたことを記念し、本作がどのような背景で誕生し、その図柄がどのように利用され、海外で「グレートウェーブ」の通称で親しまれているのか、その影響と広がりを紹介した。
- ・開催期間：令和6年6月 18 日(火)から
8月 25 日(日)まで
- ・開催施設：3階及び4階 企画展示室
- ・観 覧 料：一般 1,500 円、高大生・65 歳
以上 1,000 円、中学生・障がい者
500 円(小学生以下は無料)



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個 人	28,420	4,321	5,893	1,493	1,228	2,630	447	1,093	45,525
団 体	0	0	0	0	0	0			0
計	28,420	4,321	5,893	1,493	1,228	2,630	447	1,093	45,525

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	計
個 人	42,503,300	4,295,200	5,878,800	746,100	612,800	54,036,200
団 体	0	0	0	0	0	0
計	42,503,300	4,295,200	5,878,800	746,100	612,800	54,036,200

③ 北斎が紡ぐ平安のみやびー江戸に息づく王朝文学

- ・展示概要：北斎とその一門は、平安時代の貴族の生活や文学を題材とした作品も、多数描いている。本展では、北斎や門人が描いた宮廷人や『源氏物語』をはじめとする宮廷文学を題材とした作品、また、文学作品などのモチーフが文様として使われた道具が描かれている作品を展観し、北斎の発想力や画業の幅広さを伝えた。
- ・開催期間：令和6年9月18日(水)から
11月24日(日)まで
- ・開催施設：3階 企画展示室
- ・観覧料：一般 1,000 円、高大生・65 歳以上
700 円、中学生・障がい者 300 円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎「貴人と官女」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	22,789	1,601	6,975	275	883	1,203	355	667	34,748
団体	0	0	0	0	0	0			0
計	22,789	1,601	6,975	275	883	1,203	355	667	34,748

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65 歳以上	中学生	障がい者	計
個人	22,712,200	1,119,860	4,862,200	82,500	264,780	29,041,540
団体	0	0	0	0	0	0
計	22,712,200	1,119,860	4,862,200	82,500	264,780	29,041,540

④ 読み解こう！北斎も描いた江戸のカレンダー

- ・展示概要：北斎や弟子たちの館蔵品の摺物、特に絵歴を紹介する展覧会として開催した。私的な配り物として制作された摺物には、その年の大小の月を忍ばせた現在のカレンダーのような絵暦がある。江戸の人々が謎解きのように楽しんだ絵暦作品を、その解読方法とともに展示した。また、絵暦以外の摺物の名品も展示し、浮世絵の一形態である摺物に親しんでもらうことも目的とした。
- ・開催期間：令和6年12月18日(水)から
令和7年3月2日(日)まで
- ・開催施設：3階 企画展示室
- ・観覧料：一般 1,000 円、高大生・65 歳以上
700 円、中学生・障がい者 300 円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎「金太郎と鶯」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	19,401	1,985	5,088	506	806	1,123	333	519	29,761
団体	3	0	38	0	0	0			41
計	19,404	1,985	5,126	506	806	1,123	333	519	29,802

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	19,350,600	1,392,860	3,551,800	152,100	242,160	24,689,520
団体	2,700	0	22,800	0	0	25,500
計	19,353,300	1,392,860	3,574,600	152,100	242,160	24,715,020

⑤ 北斎×プロデューサーズ 葛屋重三郎から現代まで

- ・展示概要：浮世絵の総合プロデューサーにあたる重要な存在であった“板元”にスポットを当て、板元たちが北斎をどのようにプロデュースし、どのような作品を世に生み出したかを辿る。北斎の才能に早くから目をつけていた葛屋重三郎をはじめ、江戸の版元たち、また、伝統木版として浮世絵制作を続ける現代の出版元たちが制作した北斎からインスパイアされた現代アーティストの作品も紹介する。
- ・開催期間：令和7年3月18日(火)から
3月31日(月)まで
- ・開催施設：3階 企画展示室
- ・観覧料：一般 1,000 円、高大生・65歳以上 700 円、中学生・障がい者 300 円
(小学生以下は無料)

※翌年度への継続事業



葛飾北斎「仁和嘉狂言 三月 花すもう」

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	5,535	531	2,007	110	259	315	98	92	8,947
団体	56	57	20	0	0	0			133
計	5,591	588	2,027	110	259	315	98	92	9,080

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	5,375,200	371,560	1,377,320	31,980	77,700	7,233,760
団体	50,400	17,400	31,200	0	0	99,000
計	5,425,600	388,960	1,408,520	31,980	77,700	7,332,760

⑥ 常設展プラス 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・展示概要：全長約7mに及ぶ「隅田川両岸景色図巻」の複製画と、『北斎漫画』や『一筆 画譜』、『をどり独り稽古』などの北斎の絵手本から数冊ずつ実物大高精細レプリカを展示した。また、オリジナル作品の鑑賞を可能とするために、「今月の逸品」コーナーを9月に新設した。

・開催期間：

- 1 令和6年4月2日(火)から5月26日(日)まで
「隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画」
- 2 令和6年9月10日(火)から令和7年3月31日(月)まで
「隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画」

・開催施設：4階 企画展示室

- ・観覧料：一般700円、高大生・65歳以上600円、中学生・障がい者200円
(小学生以下は無料)



葛飾北斎『北斎漫画』初編

観覧者数

観覧者数	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	小学以下	年パス	招待券	計
個人	13,911	1,358	3,408	303	395	535	35	92	20,037
団体	80	38	66	0	0	0			184
計	13,991	1,396	3,474	303	395	535	35	92	20,221

観覧料収入

観覧料収入	一般	高大生	65歳以上	中学生	障がい者	計
個人	9,737,520	815,020	2,037,600	60,600	78,600	12,729,340
団体	36,000	19,000	33,000	0	0	88,000
計	9,773,520	834,020	2,070,600	60,600	78,600	12,817,340

4 教育普及事業

北斎や浮世絵・版画への理解促進を図りながら、文化振興や郷土を愛する心を育むことに貢献するとともに、「何度も来館したくなる」活動を展開した。

(1) 館に親しみを持つ層の拡大

個々で楽しめるようなワークショップや普及事業を MARUGEN100(講座室)で実施し、作品に親しむ機会を設けて、美術館に親しみを持つ層の拡大に努めた。

事業名	事業内容等	実施日	会場
スライドトーク	「歌舞音曲鑑」展 前期の見どころ	4/6(土)	MARUGEN100 (参加者 41人)
	「歌舞音曲鑑」展 後期の見どころ	5/11(土)	MARUGEN100 (参加者 40人)
	「北斎 グレートウェーブ・インパクト」展 前期の見どころ	6/29(土)	MARUGEN100 (参加者 40人)

事業名	事業内容等	実施日	会場
スライドトーク	「北斎 グレートウェーブ・インパクト」展 後期の見どころ	8/10(土)	MARUGEN100 (参加者 40 人)
	「北斎が紡ぐ平安のみやび」展 前期の見どころ	10/5(土)	MARUGEN100 (参加者 32 人)
	「北斎が紡ぐ平安のみやび」展 後期の見どころ	11/2(土)	MARUGEN100 (参加者 32 人)
	「読み解こう！北斎も描いた江戸のカレンダー」展 前期の見どころ	1/18(土)	MARUGEN100 (参加者 40 人)
	「読み解こう！北斎も描いた江戸のカレンダー」展 後期の見どころ	2/8(土)	MARUGEN100 (参加者 41 人)
講演会・講座	千代田区立日比谷図書文化館：特別展「しりあがりさんとタイム トラベル 江戸×東京」トークショー〈出講〉	5/1(水)	日比谷コンベン ションホール (参加者 164 人)
	「葛飾北斎はかせ 目黒龍一郎さんと学ぶ北斎のミョク！」	5/5(日・祝)	MARUGEN100 (参加者 23 人)
	新紙幣採用記念！トークイベント「北斎 グレートウェーブ誕生の 軌跡」	8/3(土)	東京東信用 金庫本部 大ホール (参加者 89 人)
	墨田区立小・中学校新規配属教員への研修・解説	8/20(火) (2回)	MARUGEN100 (参加者 60 人)
	「浮世絵・暦の出版統制と大小歴」	1/25(土)	MARUGEN100 (参加者 38 人)
	「葛飾北斎とグレートウェーブ」〈出講〉	1/26(日)	板橋区立 東板橋図書館 (参加者 38 人)
	法政大学シンポジウム「摺物にみる江戸狂歌人の知識と教養」 〈出講〉	2/4(火)	法政大学市ヶ谷 キャンパス
ワークショップ	夏休みキッズ企画 「浮世絵の職人入門」	7/20(土)	MARUGEN100 (参加者 38 人)
	「手製本でつくる かさねの色目手帖」	10/14(月・祝)	MARUGEN100 (参加者9人)
	「季節のハガキを摺ってみよう」	12/21(土)	MARUGEN100 (参加者 40 人)
自由参加型 ワークショップ	「＃北斎__みんなで踊ってみた」	4/1(月)～ 5/26(日)	3階ホワイトエ
	大波小波総選挙	6/18(火)～ 8/25(日)	
ワークシート	「北斎の波を見てみよう」	6/18(火)～ 8/25(日)	3階企画展示室
	「北斎が紡ぐ平安のみやび」	9/18(水)～ 11/24(日)	
	源氏物語 早わかりガイド	9/18(水)～ 11/24(日)	

事業名	事業内容等	実施日	会場
ワークシート	伊勢物語 早わかりガイド	9/18(水)～ 11/24(日)	3階企画展示室
	「干支を読み解こう！」	12/18(水)～ 3/2(日)	
	「北斎×プロデューサーズ」関連マップ	3/18(火)～ 3/31(月)	
イベント	林家あんこ「あんこ三十六景」〈出講〉	5/6(月・休)	なかの 芸能小劇場
	(共催)岩片昌美 鎌倉彫浮世絵展	5/12(日)～ 5/19(日)	MARUGEN100 (観覧者 960 人)
	(共催)宝井琴梅講談会(第4回)「講談で楽しむ北斎百話」	7/14(日)	MARUGEN100 (参加者 35 人)
	ルービックキューブで作った神奈川沖浪裏の作品に迫る！ ルービックキューブアート博士 黒田創くんのミニ講座	7/15(月・祝)	MARUGEN100 (参加者 35 人)
	Demonstration of Making Print The Great Wave (インバウンド向け伝統木版画摺りの実演) ※案内スタッフにバイリンガル・ボランティアを活用	7/20(土)	MARUGEN100 (参加者 38 人)
	北斎が紡ぐ平安のみやび」展開連 「十二単着装実演—現在に息づく平安のみやび」	9/28(土)	MARUGEN100 (参加者 40 人)
	「林家あんこ 北斎と話芸」(2回公演)	11/3(日・祝)	MARUGEN100 (参加者 72 人)
	建築担当者から建物の特徴などの説明と館内をめぐるツアー	11/9(土)	MARUGEN100 (参加者 11 人)
	(共催)宝井琴梅講談会(第4回)「講談で楽しむ北斎百話」	12/7(土)	MARUGEN100 (参加者 21 人)

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内外の学校に出向き、北斎の基礎的な情報を伝える講座や、北斎を学び体験する授業など、校種・学年に応じた多彩なプログラムを実施した。また、墨田区教育委員会等と連携し、学校の団体利用に対して学芸員が北斎や展示内容に関する講義・解説を行った。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業	北斎の画を描こう！ ～北斎になってみよう～	7/4(木)	中和小学校	97 人 (1・2年生)
	北斎の画を描こう！ ～北斎になってみよう～	9/10(火) 9/12(木)	二葉小学校	129 人 (3年生)
	北斎の作品を鑑賞しよう！ 北斎の画を描こう！～北斎になってみよう～	10/4(金)	東吾婦小学校	66 人 (6年生)
	北斎の作品を鑑賞しよう！ 北斎の画を描こう！～北斎になってみよう～	10/29(火) 10/30(水)	両国小学校	87 人 (6年生)
	北斎の作品を鑑賞しよう！	11/6(水) 11/7(木)	二葉中学校	113 人 (6年生)
	北斎の画を描こう！ ～北斎になってみよう！～	2/4(火)	第三寺島小学校	53 人 (3年生)

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
出前授業 制作物展示	東吾嬬小学校6年生 出前授業制作物 展示	11/12(火)～ 11/24(日)	4階ラウンジ	—
	両国小学校6年生 出前授業制作物 展示	12/17(火)～ 1/5(日)		—
	二葉小学校6年生 出前授業制作物 展示	1/8(水)～ 1/26(日)		—
	緑小学校6年生 出前授業制作物 展示	2/18(火)～ 3/2(日)		—
団体見学	都立両国高等学校附属中学校(1年生)	7/6(土)	—	40 人
	中和小学校(4・5・6年生) 「The Great Wave プロジェクト」	7/9(火) 7/18(木) 7/19(金)	—	167 人
	(私立)墨田幼稚園	8/7(水)	—	21 人
	柳島小学校	10/18(金)	—	68 人
	二葉小学校(2・3・6年生)	10/24(木) 10/25(金) 11/6(水) 11/7(木)	—	230 人
	寺島中学校(1年生)	12/10(火)	—	126 人
	本所中学校(1年生)	12/17(火) 12/18(水)	—	50 人
	緑小学校(6年生)	1/21(火)	—	61 人
	吾嬬第二中学校(1年生)	1/24(金)	—	81 人
職場体験学 習の受入れ	吾嬬立花中学校	7/4(木) 7/5(金)	—	3人
	両国中学校	7/10(水)	—	3人
	都立白鷗高等学校附属中学校 都立両国高等学校附属中学校	11/13(水) 11/14(木)	—	5人

(3) 地域との結びつきを深める取組み

地域との結びつきを深めるために「すみだまつり・こどもまつり」への出展、「北斎祭り」の共催をはじめ、各種イベント等に協力した。また、「隅田川 森羅万象 墨に夢」や区の各種主催事業などについて、MARUGEN100(講座室)を会場として提供した。

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	【出展】「こどもまんなかすみだ」キックオフイベント～“こどもわくわくフェスティバル”	5/26(日)	キャンパスコモン	—
	【協力】大江戸すみだ職人展	9/20(金)～ 9/23(月・休)	MARUGEN100	—

事業名	事業内容等	実施日	会場	参加者
イベント	【出展】すみだまつり・こどもまつり	10/5(土) 10/6(日)	錦糸公園	—
	【共催】北斎祭り(灯りのフェスティバル、弘前ねぶた曳行、ねぶた絵描き)	10/5(土) 10/26(土) 10/27(日)	大横川親水公園 北斎通り MARUGEN100	—
	【出展】ひがしんビジネスフェア 2024	11/22(金)	国技館	—
	【協力】どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ 場所～力士制作ワークショップ亀沢部屋	11/30(土)	MARUGEN100	—
	【協力】向島百花園「梅まつり」における 『北斎漫画』パネル展示等	2/9(日)～ 2/16(日)	向島百花園	—
その他	【協力・参加】すみだ北斎クイズラリー	11/1(金)～ 1/31(金)	北斎ゆかりの地 各所	—
	【参加】すみだまるごとバルウォーク	1/22(水)～ 2/11(火・祝)	—	—
	すみだ子どもPR大使による広報活動	2/9(日)	MARUGEN100 ほか	9人
	北斎桜 植樹式	3/15(土)	当館南西側 植栽スペース	25人

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室の役割を果たしつつ、多様な利用者のニーズを踏まえた運営に取り組んだ。所蔵図書資料の情報を適切に整理・保存するとともに、学芸員や広報担当とも連携を図り、図書資料の収集や情報提供を行った。

○利用状況(蔵書点検のための休室:11/26(火)～12/8(日))

- ・来室者数:550人 ・レファレンス数:95件
- ・閉架資料閲覧請求:42件 ・図書複写申請数:554件

○特設展示

- ・各企画展の内容に合わせた「選書コーナー」の設置
- ・貴重資料の展示(展示ケース活用)

○他施設との連携

- ・墨田区立緑図書館との連携継続:パスファインダーの紹介
- ・その他の墨田区施設(ひきふね図書館、東駒形コミュニティ会館図書室)との連携(7/2(火)から):当室の案内書及びパスファインダーの配布
- ・区外施設との連携(7/2(火)から):江東区立東陽図書館における当室の案内書及びパスファインダーの配布
- ・当館からの寄贈図書の展示(1/30(木)～2/19(水)/静岡文化芸術大学図書館・情報センター)

○その他

- ・ひがしんビジネスフェア(11/22(金))における「豆本(図書室利用案内)」配布
- ・図書室オリジナルしおりの配布(1/3(金)年始開館プレゼント)

6 施設の利用及び維持管理に関する業務

- MARUGEN100(講座室)については、規程に基づき適切に貸出しを行うとともに、当館で共催する事業を誘致して、利用実例の蓄積と発信に努めた。また、外部利用の無い週末や祝日には、来館者の休憩スペースとして一般開放(「涼み処」「温み処」等)した。〈年間の日数利用率 55%/区分利用率 50%〉
- 貴重な北斎作品等の資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務実績を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施した。併せて集客施設として、受付・案内業務を接客経験の豊富なスタッフを有する専門事業者に委託し、来館者全体の 3/4程度を占めるインバウンドへの対応も含めて、適切なサービスを提供した。
- 開館から8年が経過し、各種設備の老朽化による不具合の発生頻度が高まっていることを踏まえて、主要設備の維持補修工事に要する日数を確保するために、メンテナンス休館期間(5/28(火)～6/2(日))を新たに設けて対応した。
〈メンテナンス休館中の維持補修工事〉
 - ◇熱源ポンプ・モーター(一部)交換修理工事
〈その他の期間に実施した主な維持補修工事〉
 - ◇外壁ガラス面(一部)遮熱フィルム貼付工事
 - ◇監視カメラ ITV 設備修繕及び更新工事

7 その他

- MARUGEN100(講座室)の有効利用及び普及事業の多様化を図るために、当館と協働してイベント等を実施する「イベントパートナー」制度を新設した。パートナーについては11月に公募し、6組を選定した。本格的な活動は令和7年度からとなるが、令和6年度末に2事業を実施した。
〈イベントパートナー事業〉
 - ◇日本わくわくキッズ実行委員会「子ども店長 集まれ！すみだキッズ春フェス in Hokusai」
(3/15(土):緑町公園、3/16(日)緑町公園及び MARUGEN100(講座室))
 - ◇上野真弓「北斎折り紙を使って江戸の数遊びをしよう！」(3/22(土):MARUGEN100(講座室))
- 危機管理に関する対応力の向上を図るために、全職員及び業務委託先スタッフを対象にした自衛消防訓練を2回(6月、2月)実施した。更に、「危機管理マニュアル」について、危機事象を3項目(爆発物、情報漏洩、感染症拡大)追加し、改訂した。
- 館の事業活動について、専門的な意見及び助言等を受けるために「すみだ北斎美術館専門家懇談会」を開催(8/23(金))し、展示事業等の充実につなげた。

Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の推進支援事業

地域における文化芸術活動が活発になるよう、区民や文化団体・アーティスト等様々な担い手の取り組みを把握し、助成制度やアートプロジェクト等の事業を通じて、各活動が主体的かつ持続的に展開できるよう促進した。墨田区内を中心に行われる多彩な活動を顕在化させ、情報発信や資金支援等を行うほか、文化団体やアーティストが集う機会を設けてネットワーク形成を図り、企画実現のためのコーディネートに努めるなど、中間支援の役割を担っている。

また、国や都、近隣区域の文化政策に関する情報を収集し、制度の活用により事業を充実させることで、文化芸術振興に関する専門性の向上と関連機関等との連携に努めた。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、以下の概要で助成事業を実施した。採択活動については、すみだ文化芸術情報サイトと SNS で情報を発信し、選考委員による視察と評価コメントのフィードバック、年度末の振り返り面談を行うなど支援プログラムの充実に努めた。更に、採択団体と選考委員が一堂に会する報告会を開催し、各活動についての報告と質疑応答を行った後、共通する課題についてのグループディスカッションを実施し、今後の活動に向けて情報共有を図った。

■事業概要

- ・申請要件：5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。営利団体であっても、非営利の文化事業であれば申請できることとする。
- ・対象事業：広く区民等に公開される文化芸術活動で、区の文化振興に寄与する公益性の高い事業であり、原則として区内で行われるものとする。なお、同一団体による同一の活動に対する助成は、令和4年度以降、連続で5年を上限とする。
- ・助成金額：対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・選考方法：外部専門家を含む5名の選考委員により、①区民に対する訴求力、②事業の実現性、③企画力や独創性、④将来性を基準に、書類審査とヒアリングを経て決定。
- ・助成実績：採択活動10件(申請16件)、助成総額500万円

■実施概要

時 期	内 容
令和6年4月1日(月)	令和6年度交付決定通知
4月1日(月)～令和7年3月31日(月)	採択活動の実施、随時視察
令和7年1月7日(火)～27日(月)	令和7年度助成対象活動募集
3月11日(火)	令和7年度助成対象活動ヒアリング・最終選考会
3月13日(木)	令和6年度活動報告会

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うため、本サイトでは区内の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報を登録方式で集約している。イベント情報は、各団体が発行するメールニュース等の転載や、助成事業及びアートプロジェクト「すみゆめ」と連動した情報発信により、年間 74 件を掲載した。また、アーティストや文化芸術活動団体を対象とする助成や公募等の支援情報の掲載などでサイト自体の発信力も増してきている。

- ・登録件数：189 件(前年度 185 件)
- ・総アクセス数：2万 1,584 件(前年度2万 5,240 件)
- ・総ページビュー：6 万 7,516PV(前年度7万 1,973PV)

3 文化政策及び文化事業に関する調査

財団の中間支援機能を高めるために、国や都、他の自治体の文化政策の動向等について継続的に情報収集を行った。併せて、財団が取り組む事業に対して、文化政策等の専門家からなるアドバイザリーボードの意見を聴取し、今後の課題等を情報共有した。

(1) 文化施策に関する情報収集

東京藝術大学が主催する「すみだ川アトラウンド～ARTs×SDGs でつながる隅田川流域の民間組織コレクティブ化構想」(助成:文化庁)のオープンミーティング等に参加し、墨田区はじめ近隣地域の文化団体やアート NPO などの活動について情報収集と意見交換を行った。

(2) アドバイザリーボードを活用した検討

文化政策の専門家や文化施設運営、助成制度等に詳しい有識者をアドバイザリーボードに迎え、本年度の財団の事業について進捗状況を報告したうえで、以下の事項について意見を聴取した。

- ・実施日：令和7年3月10日(月)
- ・報告及び意見交換：財団事業の進捗状況及び成果と課題、区の文化振興施策の方向性
- ・主な意見等：

(音楽事業)

各地のホールが大規模修繕や再整備の時期を迎えているが、経費の高騰が当初想定以上のレベルにある。トリフォニーホールも現況を鑑みた検討が必要だろう。

新日本フィルとの長年のフランチャイズ提携におけるアウトカム評価があってもよい。大規模修繕の期間は、アウトリーチを含めた音楽事業を共に考えるチャンスともいえる。

(美術館事業)

18 万人超の来館者を迎える中で、安全な鑑賞環境の確保と施設の維持管理については、より一層の配慮及び対応が必要である。

インバウンド需要ははじめ経済的な効果も求められようが、区内の回遊性を高めることや、クリエイティブ人材を育成するなど地域貢献の視点が重要である。

(地域文化支援事業)

「すみゆめ」は着実な展開で、プラットフォーム形成にも貢献している。地域文化の土壌を耕す事業として育ってほしい。

助成事業の成果も含め、総合的芸術祭で、これまでの蓄積が活かされることを期待する。

(総合的芸術祭)

区民芸術祭で終わらないよう、どのような価値あるものを示せるのか、達成目標と対象を具体的に詰めていくべき。中核となる企画とフリンジ枠が見えるかたちで総合感を出すといふ。

総合的芸術祭を機に遊休施設がアートスペースに生まれ変わる、新日本フィルがまちに出ていくなど、地域の活動を掘り起こし、今後につながる起爆剤となることを期待する。

4 アートプロジェクト等の推進事業

すみだ北斎美術館の開設を機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会の事務局として事業を推進した。「北斎」「隅田川」ははじめ地域資源に因むテーマで、区内及び隅田川流域で行われる活動を公募し、採択企画に対しては補助金交付や技術サポート等を行うとともに、毎月の「寄合」等を通じて参加団体相互の交流を促している。本年度は、実行委員会の主催企画2件、公募によるプロジェクト企画12件を実施した。

今回より企画公募において、新たに「東京鋳兼による特別支援枠」を1件設けて補助金を増額したことで応募件数が増え、プロのアーティストからの提案が多く寄せられた。また、屋外での企画実施を望む傾向にあり、すみゆめのプロジェクトがまちなかで行われているイメージが浸透してきたものと思われる。

更に、参加団体がそれぞれ広報に傾注したことで、「The Japan Times」に大きく紹介記事が掲載されたり、すみゆめで創造した作品が表彰される、内外の他地域の催しに招かれるといった成果もあった。まちなかで地域の状況に合ったアート活動を通じ、多様な人がつながり、アーティストと地域がつながるというアートプロジェクトとしての評価が定まってきたものと考えられる。

■運営体制

- ・主催 : 「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会、墨田区
- ・協賛 : 株式会社東京鋳兼、東武鉄道株式会社
- ・助成 : 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
[地域芸術文化活動応援助成]
(KOSUGE1-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」)
一般社団法人 MAM
(「すみゆめ踊行列ー遊びをせんとや集いけむ」)
- ・メディア・パートナー : J-WAVE 81.3FM
- ・事務局 : 公益財団法人墨田区文化振興財団



チラシ等掲出キービジュアル

■事業概要

- ・プロジェクト企画支援内容:補助金の提供(通常枠:上限100万円/東京鋳兼による特別支援枠:上限200万円、区施設の減免による利用可、技術サポート(照明・音響、展示施工など)の相談に応じる。
- ・選考方法:外部の専門家を含む5名の選考委員により、①企画の独自性・先駆性、②企画の実現性、③テーマとの親和性、④主体的参加・ネットワーク形成の意欲、⑤地域への波及効果・社会的意義、⑥企画の創造性・新規性(特別支援枠)といった基準から参加企画12件を採択(応募数:43件)。
- ・チラシ、WEB、SNSを活用した広報と、YouTubeアーカイブ(3件)、活動レポート(9件)配信。
- ・メイン期間以外でも趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募集し、広報協力を行う(10件)。
- ・参加団体や地域の方々が集う「寄合」を月1回程度、区内の文化拠点などで実施(10回)。

■主催企画

①「すみゆめ踊行列―遊びをせんとや集いけむ」

楽しいに踊り連なる人々を描いた北斎の「踊行列図」に倣い、「すみゆめ踊行列」と題して生演奏盆踊りを中心に繰り広げる2日間の催し。初日は「パフォーマンス&ピクニック」と称して、すみゆめ参加団体や地域で活動する方々が参加し、櫓をステージに見立てて踊りやパフォーマンスを披露、広場には様々な「遊び」や集いの場を設けた。

10月26日は岸野雄一のプロデュースにより、多彩な歌手と演奏家を迎え、地元の踊り手や芸能団体等を交えて、老若男女、誰もが気軽に参加できるプログラムで構成。耳馴染みある音頭に体を動かし、踊りの輪に加わりながら、思い思いに楽しむ時間となった。

・会場：隅田公園そよ風ひろば

【パフォーマンス&ピクニック】

・日時：10月25日(金)15:00～20:00

・参加者数：408人

【生演奏盆踊り】

・日時：10月26日(土)14:00～20:00

・参加者数：約5,400人

※踊り練習会(10/4・18)参加者数 213人



② KOSUGEI-16「どんどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」

身長180cm、ダンボール製の巨大力士を制作するワークショップ「巡業」を区内4つの部屋(東向島、東駒形、亀沢、キラキラ橋)で行い、個性豊かな40体の力士が「本場所」に集った。「本場所」は会場に力士制作チームを迎えて、皆で土俵をたたきながらトーナメント方式で取組みを進行、WEBで「力士名鑑」を公開して、人気投票や優勝力士予想を募った。運営には日本相撲協会の協力を得て現役の親方が解説を務め、呼出が太鼓を披露し、相撲甚句や弓取式の実演も交えて、すみだに息づく相撲文化を紹介。地元企業や団体がタニマチとなり、すべての力士の健闘を称えて懸賞品を授与し、地域ぐるみで関わり、盛り立てる場となった。

また、令和七年大相撲一月場所では、両国国技館に巨大紙相撲力士を展示して、本事業について広く紹介した(観覧者数:約25,000人)。

・巡業：11月17日(日)、24日(日)、30日(土)、
12月1日(日)

・本場所：12月15日(日)13:30～17:00

・会場：すみだリバーサイドホール

・参加者数：巡業:223人、本場所:360人、
YouTubeライブ・アーカイブ視聴:982件



■実施概要

時 期	内 容
令和6年3月4日(月)～4月 15 日(月)	「プロジェクト企画」の募集(応募 43 件)
5月 13 日(月)	選考会にて 12 企画を採択
6月4日(火)	オリエンテーション及び第1回寄合
7月1日(月)	プログラム内容のプレスリリース
9月1日(日)～12月 22 日(日)	「すみゆめ 2024」開催メイン期間
令和7年2月 15 日(土)	2024 年度活動報告会

※ 実行委員会の実施:令和6年4月 24 日、8月 23 日、令和7年3月 10 日

※ 「寄合」の実施(10 回):令和6年6月4日、6月 27 日、7月 23 日、8月 27 日、9月 25 日、
10月 17 日、11月 12 日、12月 18 日、令和7年1月 15 日、2月 15 日

※ 参加・来場者数:延べ 16 万 517 人 ※含むネットワーク企画、オンライン参加。

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

すみだ文化芸術活動助成や情報サイト、すみゆめの事務局運営等を通じて、地域との人的ネットワークや情報が蓄積してきたこともあり、区内の文化芸術活動に関する問合せ窓口としての役割が期待されている。本年は「文化芸術活動に関するオンライン相談日」で9件の相談対応を行ったほか、日常的に電話やメール等での問合せにも対応した。また、報知新聞コミュニティ季刊紙やすみだ経済新聞、そよ風 PRESS など地元メディアへの情報提供や記事掲載も定着しており、地域の文化活動を発信する一助となっている。

関連情報の収集に関しては、東京藝術大学主催の「すみだ川アトラウンド」でのピアレビュー、東京都建設局河川部が主催する隅田川サポーター交流会に引き続き参加するほか、東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の「Artpoint Meeting」などに参加して、地域に根差すアートプロジェクトの動向を把握した。

更に、墨田区が令和8年度の開催を計画している「総合的芸術祭」に向けては、これまで蓄積してきた知見を活かすべく定例の会議に出席するほか、同年度のすみゆめ事業との連携のあり方を含めて区との協議を進めている。